

る受託し実施しております。

提案する化学。

JAPAN BUILD TOKYO

2025年12月10日～12月12日

【会場】東京ビッグサイト

建設資材 EXPO

当社ブース【38-11】

是非お立ち寄りください

化学の可能性は常に無限。

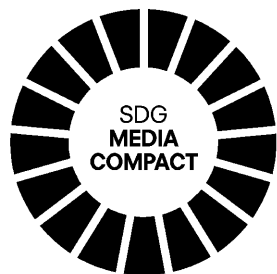
私たちは化学の力で不可能の壁を越え、
かつてないソリューションをお届けします。

日本触媒



いまずぐ動こう、気温上昇を止めるために。

1.5℃の約束



日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、
気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。

日刊工業新聞社



有力企業の製品・技術 順不同

建設資材EXPO

日本触媒

日本触媒はセメントの特性を改善する添加剤や高機能塗料用樹脂をはじめ、幅広いケミカル素材を提供する。これを通じて、環境負荷低減・資源循環・インフラの長寿命化といった社会課題の解決に取り組んでいる。

化学メーカーとして長年培ってきた知見と国内外のグループネットワークを生かし、製品の高機能化や環境配慮型素材の開発を進める。こうした強みをもとに、建設業界の価値創出を目指したワンストップ提案を推進している。ブースではコンクリートの高強度化や耐久性の向上、外観改善に効果が期待できる強度向上剤、乾燥収縮低減剤などを紹介する。

スマートビルディングEXPO

アズビル

アズビルは「共創×変革×ウェルビーイングで持続可能な未来へつなぐ」をテーマに、建物で過ごす全ての人に、快適と安心を届けるソリューションを提案する。

執務空間のウェルネス推進や満足度向上、人手不足解消に向けた設備管理の効率化・高品質化に貢献する技術を披露する。また顧客のカーボンニュートラルへの取り組みをサポートする手法なども紹介する。

再生可能エネルギーの最大活用や生成AI、BIMをテーマにしたセミナーを実施するほか、イマーシブシアターエリアでは未来の働き方を上映。ブース全体で同社の取り組みを「見る・聞く・体感する」機会を提供する。

建物の脱炭素EXPO

東京都 環境局

東京都は今年4月から太陽光パネルの設置などを義務付ける「建築物環境報告書制度」を開始した。「東京エコビルダースアワード」は、同制度で定める断熱・省エネルギー性能や太陽光パネル設置の基準を大幅に上回るなど、脱炭素化に意欲的に取り組む事業者を表彰する。

11日10時半からセミナー会場Hで、有識者3人によるパネルディスカッションを開催する。また同日13時からブースで受賞企業によるプレゼンテーションなどが実施され、受賞者による先進的な取り組みを一度に知る機会となる。東京都環境局は「脱炭素建築の最新動向をぜひ会場で見たい」と呼びかける。

コダマコーポレーション

コダマコーポレーションは建設・設備・プラント業界向けのBIM対応3次元(3D)CADシステム「TopSolid Design7」を出品し、業界が抱える課題解決に貢献する。

TopSolid Design7は設計から施工図作成までの、一連の業務に必要な機能を全て備える。そのため業務ごとに異なるツールを使い分ける必要がない。さらに3Dモデルと2次元(2D)図面データが連動しているため、設計変更時には3Dモデルを修正するだけで、全ての図面や帳票の情報が自動的に更新される。これにより、ミスや手戻りを削減し、生産性を大幅に向上できる。